

表1 佐伯湾赤潮プランクトン調査結果 令和4年6月30日 単位:細胞数/ml

採集地点	調査時間	水深 (m)	水温 (°C)	塩分 (PSU)	DO (mg/l)	シャットネラ sp.	カレニア ・ミキモトイ	ヘテロングマ ・アカシオ	コクロディニウム ポリクリコイデス
1. 夏井沖(6/29)	10:10	0	24	33	7	0	1	225	0
		5	21	34	8	0	0	100	0
		15	20	34	8	0	0	25	0
		25	20	34	8	0	1	0	0
		35	20	34	7	0	1	0	0
		40	20	34	7	0	0	10	0
41	20	34	6	0	0	0	0		
2. 長田沖						欠測			
3. 片白島	9:00	0	24	33	8	0	0	75	0
		5	21	34	8	0	0	0	0
4. 小田代	9:12	0	23	33	8	0	0	0	0
		9	21	34	9	0	0	0	0
5. 沖松浦漁港	9:21	0	23	33	8	0	0	25	0
		7	21	34	9	0	1	0	0
6. 鶴見振興局裏	9:24	0	23	33	8	0	0	150	0
		7	21	34	9	0	1	0	0
7. 鶴見ボンツーン	9:28	0	23	33	8	0	0	75	0
		2	22	33	9	0	0	0	0
		5	21	34	9	0	1	0	0
		10	21	34	9	0	0	0	0
		12	20	34	9	0	0	0	0
13	20	34	9	0	0	0	0		
8. 石間	9:58	0	25	31	8	0	0	1,225	0
		5	21	34	9	0	1	100	0
9. 霞ヶ浦	10:09	0	26	33	8	0	0	3,550	0
		8	21	34	8	0	23	0	2
10. 守後	10:14	0	25	33	8	0	0	775	0
		5	21	34	8	0	0	25	0
11. 片神	10:21	0	24	33	8	0	1	100	0
		5	21	34	8	0	0	50	0
12. 片神～彦島	10:31	0	24	33	8	0	0	50	0
		5	21	34	8	0	0	50	0
13. 水試前	10:45	0	25	33	8	0	0	1,475	0
		5	22	34	8	0	0	400	0
14. 津井漁港入口	13:15	0	27	-	-	0	0	54,000	0

※0mの水温・塩分・DOはクロロテックの0.5mの測定データによる
 *現在、st.7 鶴見ボンツーンにおいて自動昇降式観測機を設置していますので、QRコードまたは下記URLからご利用ください。

<http://hydro.browse.jp/hydrolift/20-Oita/oitatop.html>

参考: 赤潮注意・警戒密度(単位:細胞数/ml)

赤潮プランクトン	注意密度	警戒密度
シャットネラ spp.	10以上	100以上
ヘテロングマ・アカシオ	5000以上	50000以上
カレニア・ミキモトイ	200以上	2000以上
コクロディニウム・ポリクリコイデス	30以上	300以上

*警戒密度は漁業被害が想定される密度です。
 *アワビ、ササエ等ではカレニア・ミキモトイで100~200細胞/mlで斃死する可能性があります。
 *マダロに関しては、赤潮注意・警戒密度に1/10を乗じた細胞密度とします。



自動昇降式観測機QRコード

連絡事項

有害プランクトンのカレニア・ミキモトイ、ヘテロングマ、コクロディニウム・ポリクリコイデスが確認されました。
 今後の細胞密度の推移と魚介類の管理にご注意下さい。

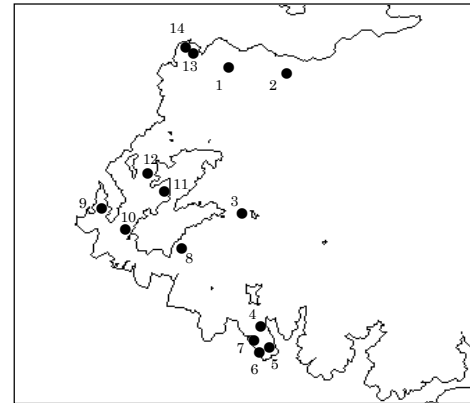


図. 調査定点図